



No.	評価項目	評価項目の指標	低 級 0ポイント	初 級 1ポイント	発 展 2ポイント	達 成 3ポイント	超 域 4ポイント
1	立ち向かった 問題の困難さ と達成度	- 立ち向かった問題の難易度達成度で評価 - ロボット作りや組織運営等、問題の分野は問わない 【難易度の基準】 - 立ち向かった問題の影響範囲が大きいほど難易度が高い ④[影響範囲]チーム外まで ③[影響範囲]チーム全体 ②[影響範囲]複数人 ①[影響範囲]一人 【達成度の基準】 - 問題の根本原因まで深掘して解決しているか ④恒久対策完了（問題の根本原因に近い部分で改善している） ③暫定対策完了（上辺だけ、一時的な改善をしている） ②対応中 実行中 ①対応案検討完了 ①未着手	難易度×達成度 ≤1	2 ≤ 難易度×達成度 ≤5	6 ≤ 難易度×達成度 ≤8	9 ≤ 難易度×達成度 ≤15	（審査員の自由記述）
2	改善方法	- 立ち向かった問題の解決に至るまでの具体的な方法論について説明されていること - 他の手段と比較したメリットとデメリットの説明等、改善方法の妥当性が分かりやすく説明されていること	改善方法が説明されていない	改善方法が説明されている	改善方法と、なぜその方法を採用したのかが説明されている	改善方法と、なぜその方法を採用したのかが説明されており、なおかつ妥当である	（審査員の自由記述）
3	粘り強さ・意志 の強さ	問題改善までの試行錯誤が説明されていること	方法が決まっていない、または説明されていない	試行錯誤がほとんど見られない	試行錯誤をある程度している	試行錯誤を十分にしている	（審査員の自由記述）
4	提出資料の 構成力	提出された資料の内容が論理的に構成されていること	本文が散発的で、構成が不明瞭	セクション構成があるが論理展開が弱い	課題・工夫・成果を明確かつ論理的に展開している	本文が論理的に展開されたうえで、用語や情報の説明が第三者から見てわかりやすいレベルで整理されている	（審査員の自由記述）
5	視覚資料の有 効性	写真や図表が本文と連携できていること	写真・図表の視覚的補助がない、もしくは写真・図表があるが本文の理解の助けになっていない	本文の理解を助ける写真・図表が不足しており、理解しづらい本文が多数ある	- 写真・図表が本文の理解を助けているが、写真・図表が不足している本文が一部ある - 図表番号を用いて本文と連携できている	- 本文の理解を助ける写真・図表が、あるべき場所すべてに配置されている - 図表番号を用いて本文と連携できている	（審査員の自由記述）

No.1に関する補足

・エントリーシートに記載できる問題はつのみとし、小さな問題を多数改善した場合は、複数の問題がつの大きな問題になっていると捉えて説明すること

No.2に関する補足

説明項目の例

・どうやって複数の解決手段を考案したか

・なぜ、その方法を採用したのか